# 賭の向題の数値計算

### 電紅研 产田英雄

## 1. まえおき

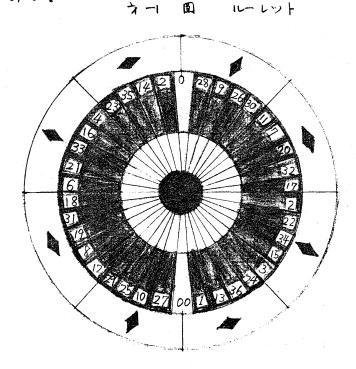
森口繁一(1963)氏のトバクの数理[1] の中の古期的な破産の問題について,数值実験と数値計算の結果を報告する。この権の問題は,線形の差分方程式を適当な境界条件で

前くため、特性方程式(2次以上の高次方程式)の根を求めるのが一つの才法であるが、パラメタを数値で与えてしまえば、連立方程式の形にして数値計算で答と求めるのは簡単である。また、このような確率の問題は、モンテカルロ法でもかなり性質がつかめるようだ。

# 2. 晴の向題の数値実験

ルーレットを用いる賭は、トバクの本命(?) で、オー国のような円周を38等分し、1から36 すでの番号 ヒその他にOヒのがある ものを用いる。Oヒのは緑色で1から36 すでの数は

、交互に赤と黒になっている。この車とまめすのヒ反対の方向に小さい白い玉をすめずと、この玉は最後には38区かくのどよか一つに入ってしまう。その番号と色を読み上げ勝負するめけである。



ルーレツトを用いた嫌で次のものを試みた。

#### (A) 1:1 の賭

これには次のも種類がある。 (1) 黒色 (2) 赤色 (3) 偶数 (4) 奇数 (5) 1から 18 すじの数 (6) 19 から 36 すじの数、 たとえば、1年 を黒色にかけると、もし黒が生ればアタリで15 貫える。もし赤か緑が生ればハズレーで 酵金の1年 は取られてしまう。1回の試みで、アクリの店卒をト、ハズレ

の作率をもとすると。

T'ba.

- (A') 1:1 の賭じ、かけ金を2倍にする.
- (B) 2:1 の 賭

これには次の6種類があるこ (1) 最初の12この数(1かかなまでの数) (2) 次の12こ(13かか24 までの数)

- (3) 最後の12 こ (25 か5 36 すごの数)
- (4) 才131(1,4,7,0,34)
- (5) \$ 2 34 (2, 5, 8, .., 35)
- (4) 才331 (3, 6, 4, --, 36)

(() ペテルスプルグ式のかけ

これは次のように賭ける、すず1申賭ける、ハズレなら2中かける・これもハズレなら4年と、・・アタリ すご 賭金を俗信にする・アタレば、そこご 賭金をふやすのを ヤめて またしゃから 出ながす・このようにすれば、アタリ が1つ出るたびに、その前のアタリのときよりも所持金は1キ増える。

たと之ば、4回ハズレス 5回目に アラレば、

	赌计金	ブ タリ / ハだレ	<b>所持</b> 金	
	1 \$	ハズレ	Z-1 = Z-1(\$)	
2 10 8	2 \$	ハズレ	z - (1+2) = z - 3(4)	
3 D B	4 \$	ハズレ	2-(1+2+4) = 2-7(+)	
400 8	8 \$	ハズレ	Z-(1+2+4+8) = Z-15(4)	
5 D B	16 \$	79)	z-15 +16 = z+1(\$)	

そこで、ある人が所持金 B=10まで賭を集しんだ。所持金が15年以上となりば勝、所持金が0年(みんけこのかて)だとなりば産として負とする。 勝負がつけば止めて帰ることにして、このような丁針で、破産する確率と勝負がつくまでの平均時間を求める。 その結果は次の表一1 となる:

表一1 所持鱼区=10年 心破產 寸3 確率 610

	宴	馬魚 (直	(500回)	計算值
	MIN	RUIN	810	810
(A) 1:1	2 48	252	0.504	0.516
(A') 1:1 かけ金 2倍	251	249	0-498	0.475
(B) 2:1	290	210	0.42	0.444
(C) ペテルスブルか	300	200	0.40	0.399

表-2 所持金 呂二10 な 勝負がってまでの回数の期待値

<b>实验值(500回)</b>	計算值 D <sub>R</sub>
49.84	51.97
1 4.89	15-33
27.77	27.82
9.32	9.65
	49.84

- この実験かか次のことが分かる。
- 1) 1:1 の贈で遊ぶ人の約千枚は喜び、千枚は悲しむ、もし同じ人が毎日こういう賭をやれば、約半分はツイテいる日となる、
- 2) もし酵金を始にして 1:1 の睹をやると 成功 する刺合は 大きいか、勝負のきまり方が速すぎる。
- 3)2:1 の賭では、成功する割合も比較的高いし、長い時間楽しめる。
- 4) ペテルスブルグ式の賭では、2:1の賭より少し成功字は下ぎ、 勝負の決り方が速い。
- こうして見ると、知は 2:1の賭がよいと思う。

## 3、賭の向題の数値計算

確率 P じアタリ, & ごハズレる( P+8=1) 鰆で,はじめの所持金 24の人が,ある鰆を行い,汁 持金が のに達したときは勝, ひとなったら魚 ヒリンゲームを続ける。このとき,角となる確率 8元 と,ゲームの継続時間の期待値 Da を求める・ランダム・ウォークの言葉でいえば,8元 はそから出発した しつの粒子が,0の 壁に吸收される確率である。 Pa = 1-8元 (これが 成立っことは 証明 されている。)は の壁に吸收される確率である。 Da は 兩側の 壁に 吸收されるすでの 平均 歩行距離である。

最初の騒で、ある人の所持金は 3+1 か 2-1 となる。

$$\begin{cases} g_{z} = p \cdot f_{z+1} + f \cdot f_{z-1} & (1 < z < a-1) \\ g_{1} = p \cdot g_{2} + f_{2} \\ g_{a} = f \cdot g_{a-2} \end{cases}$$

ヒなる、才移式を統一するため、

$$8_0=1$$
 ,  $8_0=0$  (填界ネ件)  
とおき  $8_Z=P\cdot 8_{Z-1}+8\cdot 8_{Z-1}$  (1≤Z≤Q-1)  
を育く、[2]によれば,

$$(A-3)$$
  $g_2 = 1 - \frac{2}{4}$   $(p = q n + 2)$ 

これは

$$(A-5) D_2 = \frac{2}{8-p} - \frac{a}{8-p} \cdot \frac{1-(8/p)^2}{1-(8/p)^a} (p + 8 a + 2)$$

$$(A-6)$$
  $D_z = Z(a-Z)$   $(P=8 - 6 + 2)$ 

## (B) 2:1 の時

92 については次の差分方移式が成立つ。

$$(B-1) \qquad \begin{cases} \delta_{z} = P \delta_{z+2} + \delta \cdot \delta_{z-1} & (1 \le z \le a-1). \\ \delta_{0} = 1 & \\ \delta_{a} = \delta_{a+1} = 0. \end{cases}$$

この所は 直接 (B-1) ヒ(B-2) かぐ 連立すねべを クラーメル でといて、

(B-4) 
$$P_{k} = \sum_{j=0}^{\left[\frac{k}{3}\right]} (-j)^{j} \left(\frac{k-2j}{j}\right) (g^{2}P)^{j}$$

$$(B-5) \theta_{10} = \frac{10}{8} (1-28^{2}P) / (1-128^{2}P+45(8^{2}P)^{2} - 56(8^{2}P)^{3} + 15(8^{2}P)^{4})$$

보 경 3 .

Da ニッハイは

$$(B-6) D_2 = |D_{2+2}| + |B| D_{2-1} + |C| \leq 2 \leq q-1$$

たべし

$$(8-7)$$
  $D_0=0$ ,  $D_a=0$ ,  $D_{a+1}=0$ 

$$p=\frac{12}{38}=0.3157895$$
 の場合  $R_z=Q(Z)$ ,  $D_z=D(Z)$  の表は, 数値計算の結果,次のようになる。(Q=15)

mary symmetric and symmetry and			
0(1)=	<b>).95</b> 66342	D( 1)=	6.3715
0(2) = 0	0.9109084	n(2)=	12.0545
$\tilde{g}(3) = 0$	0.8626752	D(3)=	17.0098
O(4) = 0	0.8118362		21.2011
0(5) = 0	0.7581704	D( 5)=	24.5795
0(6) = 6	1.7016852	D(6)=	27.1157
Q(7) = (	0.6418950	D( 7)=	28.7327
0(8) = 1	1.5793011	D(8)=	29.4442
0(9) = 0	.5123498	D( 9)=	29.0696
0(10) = 1	0.4436812	D(10)=	27.8192
0(11)=	0.3672891	0(11)=	25.0913
	2948995	0(12)=	21,9436
	0.2017733	n(13)=	16.0140
0(14) = 0	1.1380554	D(14)=	11.9570
	0.000000	n(15)=	0.0000

(() ペテルスブルが式の略

$$P = \frac{18}{38}$$
 ,  $\delta = \frac{20}{38}$  & L Z ,

名(Z, A) を 対特金 その人がペテルスブルグ むに A\* を賭り て遂に被産する確率

D(Z,A)を所持金区fo人がマテルスブルグ式にAfを賭り て、勝色がきするまでの時向の期待値

とする。たべし、 1652 (倍々と賭金をかやしていく原則 でけまるが、現在の所持金以上の金を賭けてはならない。) とする、

を(Z, A) については、次の差分す程式が成立つ

```
\begin{cases}
q(1,1) = P \cdot q(2,1) + q \cdot q(1,1) \\
q(2,1) = P \cdot q(3,1) + q \cdot q(1,1) \\
q(3,1) = P \cdot q(4,1) + q \cdot q(2,2) \\
q(4,1) = P \cdot q(5,1) + q \cdot q(3,2) \\
q(6,1) = P \cdot q(6,1) + q \cdot q(5,2) \\
q(6,1) = P \cdot q(3,1) + q \cdot q(5,2) \\
q(7,1) = P \cdot q(3,1) + q \cdot q(5,2) \\
q(9,1) = P \cdot q(1,1) + q \cdot q(9,2) \\
q(10,1) = P \cdot q(11,1) + q \cdot q(12,2) \\
q(12,1) = P \cdot q(13,1) + q \cdot q(11,2) \\
q(13,1) = P \cdot q(14,1) + q \cdot q(12,2) \\
q(14,1) = P \cdot q(4,1) + q \cdot q(13,2) \\
q(3,2) = P \cdot q(4,1) + q \cdot q(1,1) \\
q(4,2) = P \cdot q(6,1) + q \cdot q(1,1) \\
q(4,2) = P \cdot q(6,1) + q \cdot q(2,2)
\end{cases}
```

```
+ 9 . 9 (3,3)
8(5,2) = 1 + 8(7,1)
           p · 9 (8 , 1)
2(6,2) =
                          ? - ? (4,4)
           | • 9 (9, 1)
8(7,2) =
                           8 . 8 (5,4)
8 (8 , 2) =
                          8 . 8 (6,4)
           b · 8 (10, 1)
8(9,2) =
                           8 . 8 (7,4)
           p · 8(11) 1)
           þ · 8(12, 1)
2 (10, 2) =
                         18.8(8,4)
           b · 8(13, 1)
8(11,2)=
                          8 . 8 (9,4)
9 (12)2) =
           P . 8 (14, 1)
                           8 . 8 (10,4)
9(13)2) =
                          8 . 8 (11,4)
8(14,2) =
                           8 (12,4)
           p. 8(8, 1)
9(4,4) =
                           j
           1 - 8 (9, 1)
9(5,4) =
                           8.8(1,1)
           b · 8 (10, 1)
9(614) =
                        t (2 ) 2)
           p. 8 (11, 1)
8(7)4) =
                        t 1 (3,3)
           p. 8 (12, 1)
8(8,4) =
                           1 . 8 (4,4)
8(9)4) = P.9(13.1)
                        + 8 . 8 (2,2)
8(10,4) = 1.8(14, 1)
                        + 3 - 7 (6,6)
                          8 . 8 (7,7)
8(11)4) =
                        + 2 - 2(8,8)
8(12,4) =
                        + 6 . 8 (9,8)
8(13,4) =
                        + 9 - 8 (10,8)
9 (14,4) =
$ (8,8) =
8(9,8) =
                           9 (1,1)
8 (10,8) =
                           9 . 8 (2,2)
8(11,8) =
                          9.8(3,3)
8(12,8) =
                           8 . 8 (4,4)
8(13,8) =
                           8 . 8 (5,5)
8(14,8) =
                           8 . 9(6,6)
           p. 9(6,1)
8(3,3) =
                           Ê
8 (5,5) =
           p. 8(10, 1)
                           ٤
              8(12, 1)
8 (6,6) = 1
                           ૧
2(7,7) = P · 3(14,1)
```

D(を,A) については 次の差分す程式が成立つ。

```
D(1,1)
          = P \cdot D(2 \cdot 1)
          = P .D(3,1)
                            8 .D(1 ,1
D(2,1)
          = p .D(4,1)
D(3,1)
                            ? · D(2 , 2 )
D(4,1)
          = | .D( 5
                    , ()
                            2 ·D(3 ,2)
D(5)1)
          = p .D( 6
                    ) 1)
                           8 ·D(4 , 2)
          = P · D( 7 , 1)
D( 6 · 1 )
                          + 8 ·D( 5 , 2)
D(7.1)
          = P .D( 8
                   >1)
                          + 6 .D(6, 2)
D(8,1)
          = P .D( 9
                    > 1)
                          + 8 .D(7,2)
D(9 > 1)
          = P .D(10 , 1)
                          + 8 ·D(8,2)
D(10 > 1)
          = P .D(11
                    · ()
                          + & .D( + , 2)
D(11 > 1)
         = P \cdot D(12 ) 1)
                          + 8 .D(10 , 2)
D(12 ) 1)
          = P \cdot D(13, 1)
                          + 9 .D(11, 2)
D(13 , 1 )
          = P .D(14 ) 1)
                            9 .D(12 , 2)
D(14)1)
                              ·D(13)2)
D(2,2)
          = P \cdot D(4,1)
D(3,2)
          = p · D( 5 , 1)
                          + 8 (D(1)1)
                                         † l
D(4,2)
          = P \cdot D(
                  6 1)
                          + ? •D(2)2)
D(5,2)
          = P .D(
                  7 > 1)
                          + 8 +D(3,3)
D( 6 , 2 )
          = P \cdot D(8 > 1)
                           ( D(4,4)
D(7,2)
          = P · D( 9 , 1)
                            8 ·D( 6 , 4)
D(8,2) = P.D(10
                           7 .D(6,4)
                    ) 1)
D( 1,2)
          = P ,D(11, 1)
                          + 8 ·D(7)4)
          = P .D(12 , 1)
D(10)2)
                          + 8 .D(8 ) 4)
          = P 'D( 13 , 1)
D(11,2)
                          + 8 . D( 4 > 4)
D(12,2)
          = P .D(14)1)
                          + 8 .D(10)
D( 13,2)
                          + ? .D(11 , 4)
D( 14 ) 2 )
                          + 8 .D(12,4)
D(4)4)
          = P \cdot D(8,1)
         = p · D( 9 > 1)
D(5,4)
                             P(1,1)
                          + 8
D(6,4)
          = P .D(10 , 1)
                          + 8 -D(2)2)
D(7)4)
          = P . D( 11 , 1)
                          + & .D(3 , 3)
D(8,4)
          = P . D( 12 , 1)
                          + 9 D(4,4)
D( 9 )4)
          - P - D( 13 7 1)
                         7 8
                             D(2)2)
D(10,4)
          = P . D( 14 > 1)
                          + 8
                              D( 6 > 6 )
D(11 )4)
                              D(7)
D(12)4)
                              D(8,
D(13 )4)
                          + 8 .D( 9 , 8 )
D(14)4)
                            8 .D(10 > 8)
```

(C-1) と(C-2) 主 数は的に所くため、適当な初期値を いれて、 Gauss-Seidel 法で 50 回 反復した。 その結果を 養子 ヒ素-5 に示す。

(豆) 一二十の時でかけ金も2倍に丁る均合一

b=1回の試みでアタリの斯字

えニー国の試みご ハズレの確率

R=(最初の所符金)/(1回のかけ金)

a= (目標 類) / (1回 n かか金)

とする.

(A') 1:1 の かけで かけ 金も 2倍に する 均合は 
$$3 = \frac{10}{2} = 5$$
,  $a = \frac{15}{2} = 7.5$  と  $5 + 13\% + 11$ .

	Concession of the content of the con	- Whitehale - A tradestation comprises a security
~a	0.5000 0.5000 0.5000 0.5000 0.5263 0.4763 0.4763 0.3766	00000000000000000000000000000000000000
8,4) (1,5)	RRRRRR 11.00 10.00 1	R (11,8) = 1
) & = (v'	0.5000 0.5000 0.7276 0.5985 0.2776 0.2976 0.2976 0.2570	0.5000 0.5000 0.5000 0.7276 0.5283 0.5283 0.2770 0.2570
Evil R (Z,	00000000000000000000000000000000000000	R R R R R R R R R R R R R R R R R R R
# #	0.000 0.000	0.5000 0.9050 0.8535 0.7363 0.6700 0.5394 0.3938 0.1266 0.1566
声 植 6	E ( 2,2) = E ( 5,2) = E ( 5,2) = E ( 6,2) = E ( 7,2) = E ( 10,2) = E ( 11,2) = E ( 11,2) = E ( 14,2) =	P( 2,2) = P( 3,2) = P( 4,2) = P( 4,2) = P( 4,2) = P( 11,2) = P( 11
(1-5)	00000000000000000000000000000000000000	0.9366 0.9366 0.73994 0.0070 0.007394 0.0070 0.00739 0.0070 0.00739 0.0070 0.00
表	. ସ ଫରି ଫୋଟି ପ୍ରେମ୍ବର ନିନ୍ଦି । । . ।।	

5.643 8.799 8.799 8.340 7.420 7.999 8.340 7.905 7.905 3.324 2000 D( 2,4)= D( 3,4)= D( 5,4)= D( 6,4)= D( 9,4)= D( 11,4)= D( 13,4)= D( 14,4)= D( 14,4)= 10.121 10.121 10.121 10.139 10.303 9.200 7.829 6.080 4.127 1.803 6.490 10.121 10.121 10.1204 10.839 10.303 7.829 6.080 6.080 1.803 果 4<del>4</del> 40 D( 4,2)= U( 5,2)= U( 6,2)= U( 7,2)= U( 10,2)= U(11,2)= U(12,2)= U(12,2)= U(14,2)= D(1,2)= D(3,2)= D(5,2)= D(6,2)= D(6,2)= D(7,2)= D(10,2)= D(111,2)= D(13,2)= D(14,2)= pot 1118 6 4.164 2.094 0 ( 1,1) 0 ( 2,1) 1 ( 5,1) 1 ( 5,1) 1 ( 5,1) 1 ( 6,1) 1 ( 6,1) 1 ( 6,1) 1 ( 6,1) 1 ( 6,1) 1 ( 6,1) 1 ( 6,1) 1 ( 7, D( 1,1)= D( 2,1)= D( 4,1)= D( 5,1)= D( 5,1)= D( 5,1)= D( 2,1)= D( 11,1)= D( 11,1)= D( 12,1)= D( 13,1)= ж п #1 32

### 4. むすび

目標額を決めない略の場合は、いままでのヤタ方では解けない。しかし、実際に睹をするともは、目標額は決めるのがよい。弥に、ペテルスブルグ式に賭けるときはそうである。目標親は、(所持金十アルファ)に決めるのか、一番安全ではあるが、スリルがない。

# 参考文献

- [1] 森口第一 (1963), トバケ の数理 , 数理科学 8.63, 12-19.
- [2] 7工5春,河田龍夫地铁(1960), 硝辛論 比4 の応用 紀伊口屋書店,宋 14章
- [3] H. Yanai (1967), A feneralized Method to Evaluate the Lipschitz Constant Associated with a Class of Simultaneous Operator Systems, Proceedings of the Fujihara Memorial Faculty of Engineering, KEIO University, Vol. 20 NO. 79, PP. 1751.

研究集会の役上記[3]の文献を頂きましたことを感謝します。